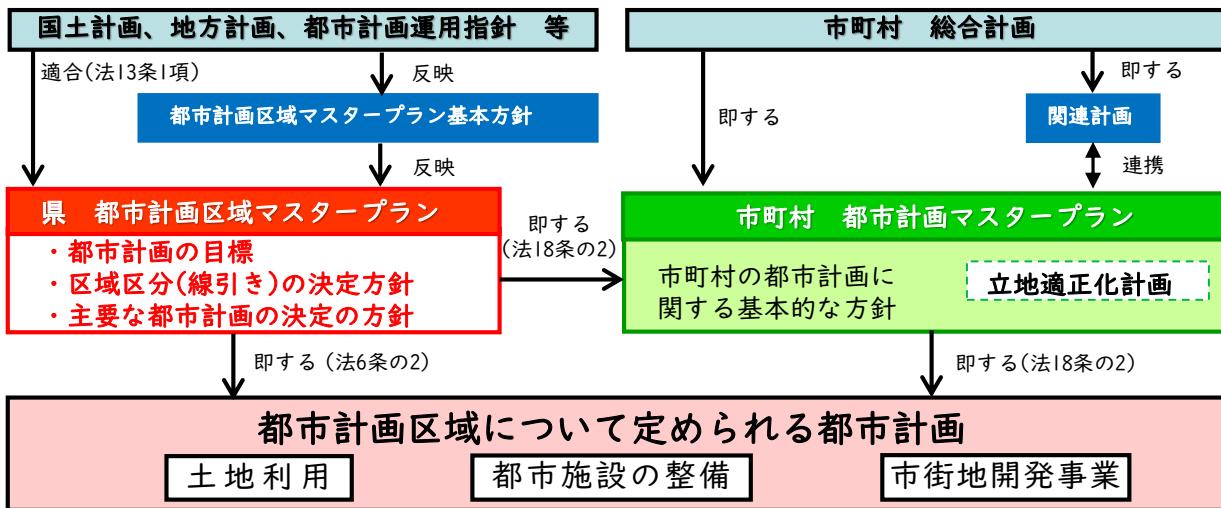


荒尾・玉名・長洲広域圏都市計画区域マスター プランの改定（見直し）について 【資料5】

I 見直しの趣旨

- 平成12年 都市計画法改正
全ての都市計画区域において都市計画の目標、区域区分(線引き)の決定方針、主要な都市計画の決定方針を定めた「**都市計画区域マスター プラン**」の策定が義務化。
- 平成15年 「**熊本県都市計画区域マスター プラン基本方針**」策定
(県内全ての都市計画区域に共通する都市づくりの方針を示すもの)
- 平成16年 「**荒尾都市計画区域マスター プラン**」、「**玉名都市計画区域マスター プラン**」、「**長洲都市計画区域マスター プラン**」策定、「玉名」及び「長洲」は平成24年に改定
- 平成25年、平成31年 「**熊本県都市計画区域マスター プラン基本方針**」改定
本格的な人口減少、少子高齢社会の到来、政令市移行などの**社会経済状況の変化**や、東日本大震災、熊本広域大水害、熊本地震等の自然災害への対応等を踏まえた改定
- 今回 基本方針**に基づき「**荒尾区域マス**」「**玉名区域マス**」「**長洲区域マス**」をまとめて**広域圏区域マス**として見直し
策定から約20年が経過。基本方針に則り、時代の変化を踏まえ改定を行うもの。

【都市計画区域マスター プランの概要】



2 広域区域マス

都市計画運用指針

都市計画区域マスター プランは、…

「必要に応じ、隣接・近接する他の都市計画区域や都市計画区域外の現状
及び今後の見通しを勘案し、広域的課題の調整が図られるよう努めるべきである。」

都市計画区域マスター プラン基本方針

広域都市計画区域マスター プランの運用について記載

広域都市計画区域マスター プランは、近隣の都市計画区域において拠点形成や都市施設等の都市計画の連携を図ることにより、効果的な都市計画の運用を目的とする。

荒尾・玉名・長洲地域の場合・・・

- 荒尾市、玉名市、長洲町、玉東町、南関町、和水町の2市4町は、平成6年に共同事務処理の効率化・合理化並びに新たな広域行政の展開を目指すため、**広域行政機構**を設立。
- 交通の面では、国道208号線をはじめとして有明海沿岸道路の整備など**都市施設等**が連続した地域である。

→ **荒尾・玉名・長洲広域圏として検討が必要**

3 社会情勢の変化

(1) 全国的な人口減少

- 平成17年の国勢調査から人口減少が顕在化、熊本県人口は平成12年に減少を確認
- 2015年→2045年で熊本県総人口が約20%減少する推計（社人研推計）

(2) 頻発・激甚化する自然災害

- 平成24年7月九州北部豪雨、H28熊本地震、令和2年7月豪雨で熊本県内に大きな被害が発生

(3) まちづくり三法改正

- 平成18年(2006年)に、都市計画法、大規模小売店舗立地法、中心市街地活性化法の一部を改正

(4) 都市施設等の社会インフラの老朽化

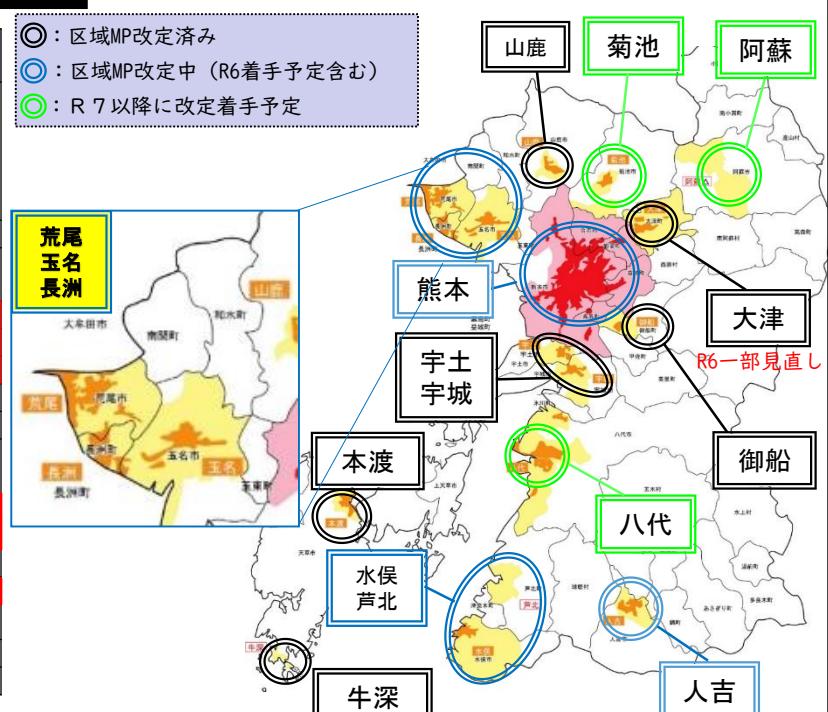
- 戦後の復興期から高度経済成長期にかけて集中的に整備された社会インフラが耐用年数を迎つつあり、道路や下水道等の都市施設の適正配置と長寿命化の推進が必要。

(5) 脱炭素地域づくり

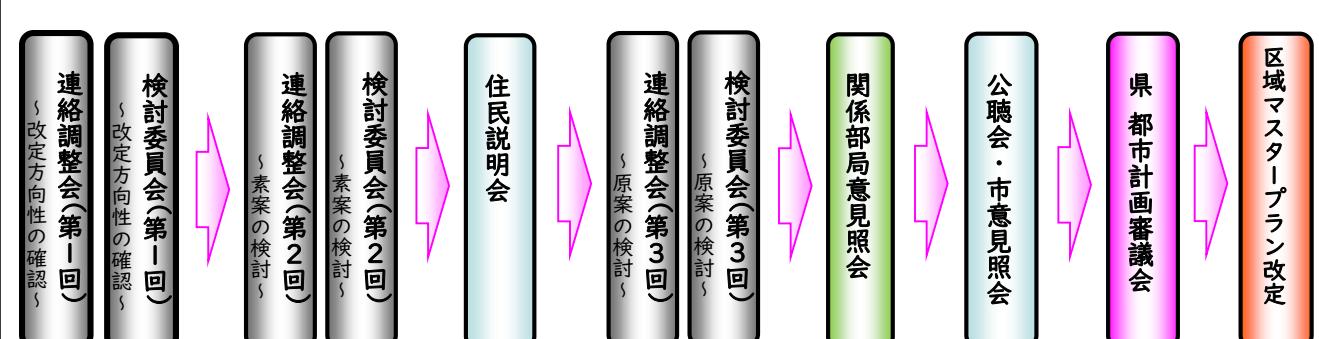
- 令和4年6月「脱炭素社会の実現に資するため建築物のエネルギー消費性能の向上に関する法律」など
2050年カーボンニュートラル実現に向けた取組の推進

4 マスター プランの改定状況

都市計画	市町村名	区域MP 最終改定年月日
熊本	熊本市	H27 (2015).5.29 (見直し作業中)
	合志市	
	菊陽町	
	嘉島町	
	益城町	
八代	八代市	H22 (2010).3.30
人吉	人吉市	H16 (2004).5.17 (見直し作業中)
荒尾	荒尾市	H16 (2004).5.17
玉名	玉名市	H24 (2012).3.30
長洲	長洲町	H24 (2012).3.30
山鹿	山鹿市	R5 (2023).2.10
菊池	菊池市	H24 (2012).3.30
宇土	宇土市	
宇城	宇城市	R5 (2023).9.22
水俣	水俣市	H16 (2004).5.17
芦北	芦北町	H16 (2004).5.17
阿蘇	阿蘇市	H16 (2004).5.17
大津	大津町	R4 (2022).1.21
本渡	天草市	H27 (2015).4.17
牛深	牛深町	H27 (2015).4.17
御船	御船町	R3 (2021).4.6



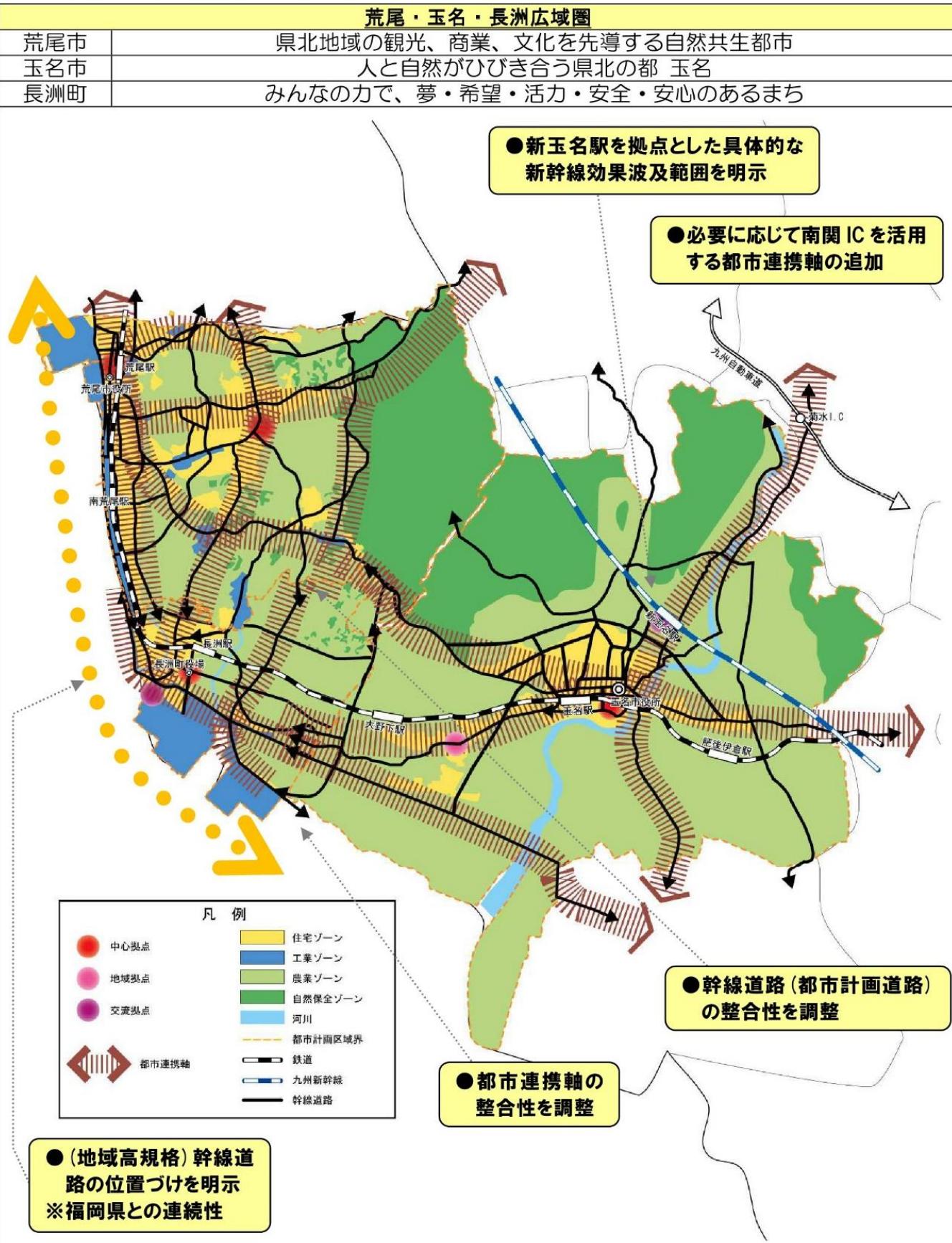
5 改定の流れ



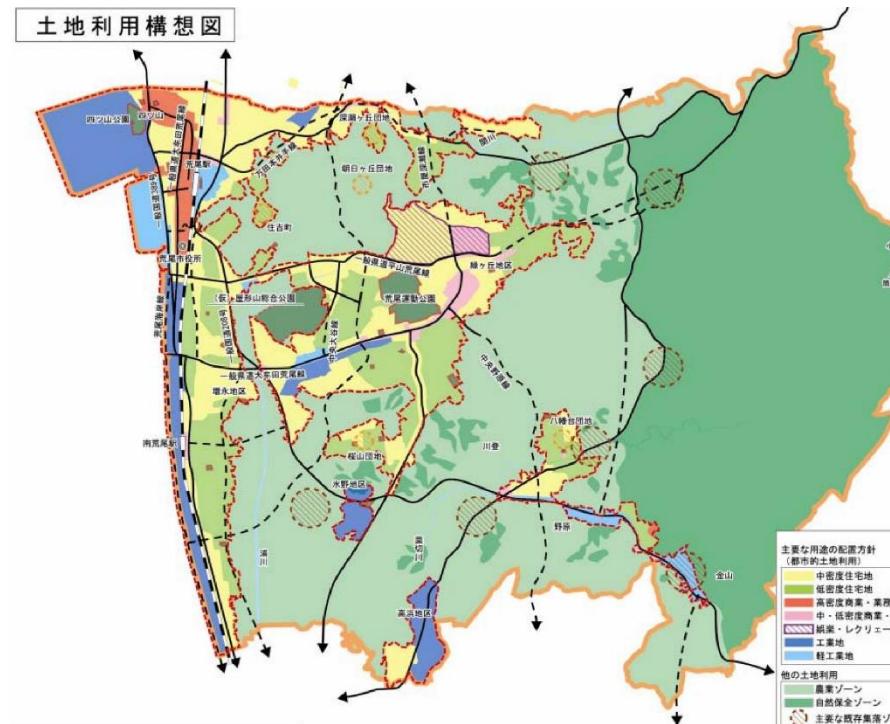
荒尾

5. 複数の都市計画区域で作成する場合の都市づくりの方向性

前記の4つの広域圏において、広域都市計画区域マスタープラン作成にあつて留意することが望ましいまちづくりの方向性を整理します。

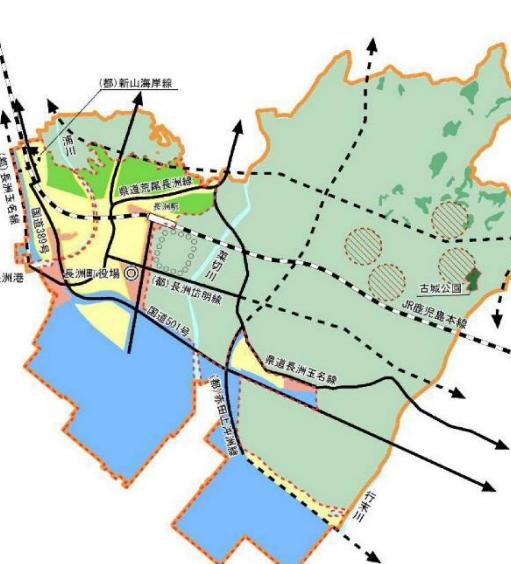


土地利用構想図

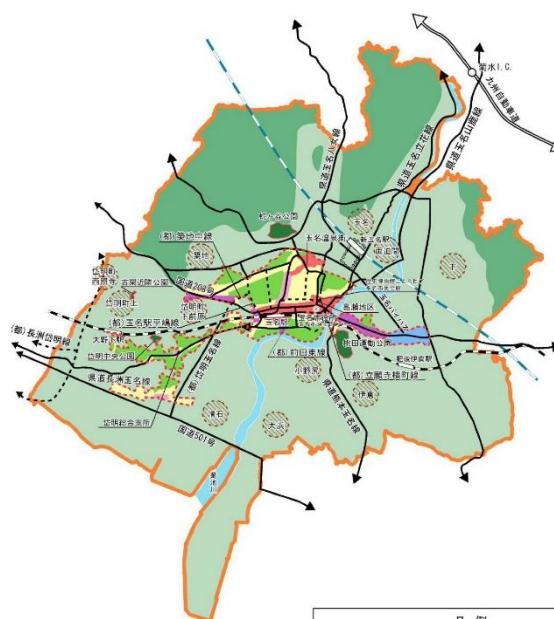


長洲

土地利用方針図



土地利用方針図



凡例

主要な用途の配置方針 (都市的土地利用)	主要な都市施設
商業・業務地(高密度)	鉄道
商業・業務地(中密度)	幹線道路
住宅地(中密度)	幹線道路(計画)
住宅地(低密度)	河川
工業地	公園

他の土地利用

- 農業ゾーン
- 自然保全ゾーン
- 主要な既存集落ゾーン

●この画面は、土地利用のおおむねの配置を示している。

(都) : 都市計画道路を示す。

主要な用途の配置方針 (都市的土地利用)	主要な都市施設
商業・業務地(高密度)	九州新幹線
商業・業務地(中密度)	JR鹿児島本線
住宅地(中密度)	高速道路
住宅地(低密度)	幹線道路
工業地	幹線道路(計画)
工業地(軽工業)	河川

他の土地利用

- 農業ゾーン
- 自然保全ゾーン
- 田園居住エリア

●この画面は、土地利用のおおむねの配置を示している。

(都) : 都市計画道路を示す。

●この画面は、土地利用のおおむねの配置を示している。

(都) : 都市計画道路を示す。

●この画面は、土地利用のおおむねの配置を示している。

(都) : 都市計画道路を示す。